

I 平成 26 年度 事業評価表

- 1 企 画 部
- 2 総 務 部
- 3 市 民 部
- 4 生活環境部
- 5 健康福祉部
- 6 子ども政策部
- 7 都市整備部
- 8 教育委員会

平成26年度 「各部の運営方針と目標」掲載 ≪個別事業評価表≫

事業名	新川防災公園・多機能複合施設（仮称）の整備の推進	個別事業 掲載No	企 — 1①
-----	--------------------------	--------------	--------

当初計画	【事業概要】 新川防災公園・多機能複合施設（仮称）の平成28年度竣工をめざし、平成25年10月に着手した建設工事を徹底した安全管理のもと、計画的に推進する。無電柱化整備については、平成25年度に完了した詳細設計をもとに事業敷地北側道路（市道第372号線）の拡幅用地を取得するとともに工事にも着手する。また、UR都市機構との連携による用地取得に向けた取り組みを推進する。 【事業量】 ・建設工事の推進 ・市道第372号線の無電柱化工事の推進 ・UR都市機構との連携による事業用地取得に向けた取り組みの推進
	スケジュール 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月 ● ● ●
	事業の成果（目標） ・建設工事の進捗 ・市道第372号線の無電柱化工事の進捗 ・事業用地取得に向けた取り組みの進捗

中間評価	上半期の実績・課題等 建設工事は徹底した安全管理のもと、計画的に行われており、6月には掘削工事を終え、その後、本格的に基礎・躯体工事を進めている。無電柱化整備については、敷地北側道路の市道第372号線の工事に関する協定を8月に締結した。また、UR都市機構との連携による事業用地取得に向けた取り組みも大きく推進し、7月に完了した。 下半期は、上半期同様、建設工事を進める。無電柱化整備では、市道第372号線についての工事を10月に着手するとともに、拡幅用地をUR都市機構より取得する。また、敷地東側道路の市道第582号線についても工事に着手する。これらの工事にあたっては、徹底した安全管理のもと、計画的に進めていく。
	事業評価 審査会 特記意見 政策会議 評価・意見等 重点的に取り組む課題とする。
	主管課評価 1 事業評価審査会評価 1 1 重点的に取り組む 2 経常業務の一環として取り組む 3 見送ることとする

事後評価	実績 ・建設工事の推進 ・市道第372号線及び市道第582号線の無電柱化工事の着手 ・UR都市機構との連携による事業用地取得に向けた取り組みの推進 ・施設整備に係る財源確保に向けた取り組み ・工事現場見学会の開催（2回）
	スケジュール 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月 ● ● ●
	事業の成果（実績） ・建設工事の推進（基礎・躯体工事の大幅な進捗） ・市道第372号線の拡幅用地の取得及び無電柱化整備工事の進捗 ・UR都市機構との連携による事業用地取得に向けた取り組みの完了 ・多機能複合施設整備にあたっての都補助金の確保 ・工事現場見学会の開催（41人）
	事業の総括（主管課） 新施設の建設工事は順調に進み、スポーツ施設部分の基礎・躯体工事は概ね完了した。また、昨年度に引き続き、多機能複合施設に対する都補助金を獲得した。無電柱化整備については、UR都市機構より北側道路（市道第372号線）の拡幅用地を取得するとともに北側道路（市道第372号線）と東側道路（市道第582号線）の工事に着手した。 なお、継続的に行ってきた事業用地取得に向けた取り組みについては、UR都市機構との連携により完了した。さらに、本整備事業の周知の一環として工事現場見学会を2回実施した。
	事業評価 審査会 評価・意見等 予算 執行 25年度実績 26年度当初 26年度実績 予算額 2,551,863千円 3,390,889千円 3,390,889千円 決算額 2,084,512千円 2,482,187千円 執行率(%) 81.7% 73.2%
主管課評価 2 事業評価審査会評価 2 1 計画以上 2 計画どおり 3 計画の7割未満 4 その他（取組方針の変更等）	

平成26年度 「各部の運営方針と目標」掲載 ≪個別事業評価表≫

事業名	新川防災公園・多機能複合施設（仮称）管理運営計画の策定に向けた取り組み	個別事業掲載No	企 — 1②
-----	-------------------------------------	----------	--------

当初計画	事業概要・事業量	<p>【事業概要】 新川防災公園・多機能複合施設（仮称）開設後の効率的・効果的な管理運営の実現に向け、利用団体等との調整、庁内関係部署との連携を図りながら、平成24年度より検討を進めてきた管理運営計画を策定する。管理運営体制のあり方を検討する中で、行財政改革の観点からランニングコストの縮減や組織の見直しについても検討を進める。また、新施設に導入する3つの情報通信システム（災害情報システム、施設予約システム、健康・体力相談支援システム）については、平成25年度に策定した基本計画をもとに、ワーキンググループによる検討を重ね、システム調達に向けた仕様書を作成する。</p> <p>【事業量】</p> <ul style="list-style-type: none"> 管理運営計画の検討 関係する審議会、団体等への情報提供、意見・要望等の把握 ワーキンググループによる情報通信システム内容の検討 											
	スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	事業の成果（目標）	<ul style="list-style-type: none"> 管理運営計画の策定 情報通信システム調達仕様書の作成 											

中間評価	上半期の実績・課題等	<p>開設後の効率的・効果的な管理運営を実現するため、ランニングコストの縮減や組織の見直しの観点も踏まえ、管理運営体制の検討を進めるとともに、利用団体等との調整、庁内関係部署との連携を図りながら、管理運営計画の策定に向けた検討もあわせて進めた。また、情報通信システムについては、3つのワーキンググループにおいて、システム要件定義案を作成し、システム開発業者にRFIを実施し、機能の実現可能性や開発コストの試算を行った。なお、健康・体力相談支援システムについては、平成24年10月に市、教育委員会、株式会社まちづくり三鷹、NPO法人三鷹ネットワーク大学推進機構の4者で締結した「共同研究開発協定書」に基づき、システム開発を実施することとした。</p> <p>下半期は、引き続き、管理運営計画を検討・策定するとともに、管理運営体制の検討を行っていく。また、情報通信システムについては、上半期に実施したRFIの回答をもとに、システムの要件定義を確定し、システムの調達仕様書を作成する。</p>											
	事業評価審査会特記意見	政策会議評価・意見等	<p>重点的に取り組む課題とする。 関係部署や関係団体等と十分な協議を行い、早急に管理運営計画を策定すること。また、利用開始を見据えた全体の進行管理を徹底すること。</p>										
	主管課評価	1	事業評価審査会評価	1	1 重点的に取り組む 2 経常業務の一環として取り組む 3 見送ることとする								

事後評価	実績	<ul style="list-style-type: none"> 管理運営計画の検討 関係する審議会、団体等への情報提供、意見・要望等の把握 ワーキンググループによる情報通信システム内容の検討 											
	スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	事業の成果（実績）	<ul style="list-style-type: none"> 「管理運営計画（案）の概要」の作成 情報通信システム実行計画及び調達仕様書の作成 											
	事業の総括（主管課）	<p>管理運営計画については、平成26年度の策定に向け、利用団体等との意見交換、庁内関係部署との調整を行い、管理運営体制やランニングコストの試算等の検討を重ねてきたが、計画の内容が新施設における今後の事業展開等に係る部分が多いことから、市長選挙後に確定することとし、今年度は現時点までの検討を踏まえた「管理運営計画（案）の概要」を作成した。</p> <p>3つの情報通信システムについては、基本計画をもとにワーキンググループでシステム内容の要件定義や費用分析等を行いながら、開発に向けた実行計画と調達仕様書を作成した。なお、健康・体力相談支援システムと施設予約等システムについては、平成24年10月に市、教育委員会、（株）まちづくり三鷹、NPO法人三鷹ネットワーク大学推進機構の4者で締結した「共同研究開発協定書」に基づき、オープンソース・プログラム言語Rubyを活用したシステム開発を実施することとした。</p>											
	事業評価審査会評価・意見等	管理運営計画の確定後、速やかに関係団体等と調整を図ることが望ましい。	予算執行	25年度実績	26年度当初	26年度実績							

主管課評価	3	事業評価審査会評価	3	1 計画以上 2 計画どおり 3 計画の7割未満 4 その他（取組方針の変更等）								
-------	---	-----------	---	--	--	--	--	--	--	--	--	--

平成26年度 「各部の運営方針と目標」掲載 ≪個別事業評価表≫

事業名	「第4次三鷹市基本計画」の第1次改定に向けた準備	個別事業掲載No	企 — 2
-----	--------------------------	----------	-------

当初計画	事業概要・事業量	<p>【事業概要】 平成27年度に予定している第4次三鷹市基本計画の第1次改定、関連個別計画の改定に向けて、基礎的調査の実施や各市民会議・審議会での評価・検証など準備に取り組む。計画改定に向けた基礎資料を作成するとともに、三鷹まちづくり総合研究所に設置した研究会において第4次三鷹市基本計画の中・後期に向けた政策課題について調査・研究する。</p> <p>【事業量】 三鷹を考える論点データ集、三鷹を考える基礎用語事典、市民満足度・意向調査報告書及び計量経済モデルによる三鷹市経済の長期予測報告書の作成、まちづくり総合研究所設置研究会の実施（7回）</p>											
	スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	事業の成果(目標)	<p>三鷹を考える論点データ集、三鷹を考える基礎用語事典など基礎資料を作成する。これらを踏まえつつ、まちづくり総合研究所設置の研究会での調査・研究等により、基本計画等改定にあたっての政策課題を明らかにする。また、第4次基本計画、個別計画の改定に向けた各審議会・市民会議等における評価・検証に関する総合調整を図る。</p>											

中間評価	上半期の実績・課題等	<p>論点データ集、基礎用語事典共に8月下旬に初校戻しまで終了。計量経済モデルについては、必要な送付データの確認等、契約締結に向け準備を行った。まちづくり総合研究所研究会については、テーマごとに講演会を3回開催し多くの関係職員の出席を得たほか、研究員による課題整理を行った。下半期は、全庁的に計画改定に向けた取り組みを円滑に行うため、適切な総合調整を行う。</p>											
	事業評価審査会特記意見	各部で取り組む個別計画の改定等と十分な調整を図るとともに、ICTを活用した市民参加については、速やかに手法を検討することが望ましい。				政策会議評価・意見等		重点的に取り組む課題とする。					
	主管課評価	1	事業評価審査会評価	1	1 重点的に取り組む 2 経常業務の一環として取り組む 3 見送ることとする								

事後評価	実績	<p>平成26年10月に三鷹を考える論点データ集(2,000部)及び三鷹を考える基礎用語事典の作成(電子版のみ)、市ホームページ、市政情報デジタル化公開サイトで公表。平成27年3月に市民満足度・意向調査報告書及び計量経済モデルによる三鷹市経済の長期予測報告書の作成、まちづくり総合研究所設置研究会7回開催、報告書作成。</p>											
	スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	事業の成果(実績)	<p>市の課題や取り組み状況を視覚的に分かりやすくまとめた三鷹を考える論点データ集、三鷹を考える基礎用語事典を作成、公表した。まちづくり総合研究所設置の研究会報告書では、オープンデータ、観光、学生との連携による地域活性化、地域での支え合いのしくみ、子ども家庭福祉、協働によるまちづくりなどの政策課題について、調査、研究した。基本計画第1次改定に向けた通知等を作成するなど、庁内調整を図った。</p>											
	事業の総括(主管課)	<p>近隣市との比較データなどを掲載し、市の課題や取り組み状況を視覚的に分かりやすくまとめた三鷹を考える論点データ集、三鷹を考える基礎用語事典を平成26年10月に作成、ホームページ等で公表した。市民満足度・意向調査では、約8割の方が市政に満足しているとの結果が明らかとなったほか、計量経済モデルによる三鷹市経済の長期予測では、3つの経済ケースを設定し人口推計等を行った。まちづくり総合研究所設置の研究会(持続可能な都市経営と基本計画改定等の将来課題に関する研究会)を計7回開催し、オープンデータ、観光、学生との連携による地域活性化、地域での支え合いのしくみ、子ども家庭福祉、協働によるまちづくりなどの政策課題について調査、研究し報告書に取りまとめた。また、平成26年10月に基本計画第1次改定・個別計画改定の進め方及び改定に向けた準備に関する通知を作成し庁内に周知を図るなど、総合調整等を行った。</p> <p>第1次改定にあたっては、社会経済状況の変化、国等の制度改正、市の人口構成の変化を踏まえ、多様な市民参加により的確な計画改定を行う。</p>											
	事業評価審査会評価・意見等			予算執行			25年度実績		26年度当初		26年度実績		

平成26年度 「各部の運営方針と目標」掲載 ≪個別事業評価表≫

事業名	持続可能な自治体経営をめざした行財政改革の推進及び行財政改革アクションプラン2022改定に向けた検討	個別事業掲載No	企 — 3
-----	--	----------	-------

当初計画	【事業概要】 財政の健全性ときめ細かいサービスの提供を両立するため、「事務事業総点検運動」を継続するとともに、経費をかけずに成果や市民満足度を高める「ゼロ・アップ創造予算」の推進や「対話による創造的的事业評価」による事業見直しと予算編成とのさらなる連動を図る。 行財政改革アクションプラン2022の達成状況等について評価・検証し、改定に向けた検討を行う。 また、引き続き新川防災公園・多機能複合施設（仮称）の開設などを見据え、柔軟で機動的な組織のあり方について検討する。なお、新たな地方公会計制度への対応について、プロジェクト・チームを設置し検討を開始する。 【事業量】 ・行政評価－事業評価審査会、審査会ヒアリングの実施、対話の実施及び事業見直し ・行財政改革アクションプラン2022の改定に向けた検討 ・組織改正－各部ヒアリングの実施												
	スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	事業の成果（目標）	<p>○（対話）5月＝事業選定に係る方向性協議及び確定 ○（対話）6月下旬～7月上旬＝改善提案対象事業選定 ○（対話）7月中旬～9月中旬＝企画部、総務部、所管部による対話 ○（対話）10月＝政策会議</p> <p style="text-align: center;">← 組織改正、行財政改革アクションプランの改定に向けた検討</p> <p style="text-align: center;">← 新たな地方公会計制度に関する検討（プロジェクトチーム） →</p> <p>・対話による創造的的事业評価－方向性の確定、対話による事業見直し（30件程度） ・ゼロ・アップ創造予算などによる事業見直し実施、・組織改正についての検討、・行財政改革アクションプラン2022の改定に向けた検討、・新たな地方公会計制度への対応について検討</p>											

中間評価	上半期の実績・課題等	「対話による創造的的事业評価」については、「対話による創造的的事业改善」としてセルフチェックシートの改良に取り組み、予定通り事業選定に係る方向性の協議及び確定ののち、各セルフチェックシートをもとに26事業を対象事業に選定し、7月中旬から改善に向けた所管部との対話を開始した。行財政改革アクションプランの改定については、「対話による創造的的事业改善」の改善提案等で中長期的課題とされた施策、事業等についても改定時の議論の対象とする。 また、新公会計制度への対応について、7月にプロジェクト・チームを設置し2回の会議を開催するなど、新公会計制度の開始に向けた取り組みを推進した。											
	事業評価審査会特記意見												
	政策会議評価・意見等	重点的に取り組む課題とする。 計画の改定にあたっては、国・東京都の制度改正や市の課題等を的確に捉え位置付けること。 新地方公会計制度の導入にあたっては、今までの三鷹市の取り組みを踏まえつつ、導入後の成果を見据えて検討すること。											
主管課評価	1	事業評価審査会評価	1	1 重点的に取り組む 2 経常業務の一環として取り組む 3 見送ることとする									

事後評価	実績	<ul style="list-style-type: none"> 行政評価：事業評価審査会、審査会によるヒアリングの実施、「対話による創造的的事业改善」本格実施 行財政改革アクションプラン2022の検討 ・組織改正のための各部ヒアリングの実施 新地方公会計制度検討チーム会議の開催（2回） 											
	スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	事業の成果（実績）	<ul style="list-style-type: none"> 組織改正：健康福祉部生活福祉課自立支援係を自立支援・相談係に名称変更（平成27年4月1日施行） 行政評価：「対話による創造的的事业改善」の実施（対象26事業） ゼロ・アップ創造予算などの事業見直し実施 ・行財政改革アクションプラン2022：改定に向けた検討 新地方公会計制度検討チームの設置（プロジェクトメンバー11人）及び会議開催 第1回会議（7月15日）、第2回会議（9月29日） 											
	事業の総括（主管課）	<p>平成22年度から取り組んできた「事務事業総点検運動」の成果とともに、市の財政状況に一定の回復の兆しが見られるようになったことを踏まえ、「事務事業総点検運動推進本部」を平成26年度末に解散した。昨年度の試行を経て今年度から本格的に取り組んだ「対話による創造的的事业改善」では、26の対象事業について庁内部門間による「対話」を実施し、11事業を改善につなげた。また、事務事業総点検運動を継続し、「ゼロ・アップ創造予算」を含む37事業を見直し、約5,900万円の経費削減を図った。これらの取り組みを踏まえ、行財政改革アクションプラン2022の改定に向けた検討を進めた。</p> <p>組織改正については、市長選挙を見据え、国等の制度改正に伴う係名称の変更にとどめた。今後は、新川防災公園・多機能複合施設（仮称）開設後の管理運営体制を踏まえ、組織のあり方などを速やかに検討する。</p> <p>新地方公会計制度への対応については、7月にプロジェクト・チームを設置し検討を行うなど、制度の開始に向けた取り組みを推進した。</p>											
	事業評価審査会評価・意見等												
主管課評価	2	事業評価審査会評価	2	1 計画以上 2 計画どおり 3 計画の7割未満 4 その他（取組方針の変更等）									

平成26年度 「各部の運営方針と目標」掲載 <<個別事業評価表>>

事業名	社会保障・税番号制度への対応	個別事業掲載No	企 — 4
-----	----------------	----------	-------

当初計画	事業概要・事業量	<p>【事業概要】 平成27年10月個人番号の通知、平成28年1月個人番号の利用開始に向け、平成25年度に設置した「社会保障・税に関わる番号制度検討チーム」を中心に全庁的な検討を推進する。個人情報保護や情報セキュリティに留意しながら、市民サービス向上に向けた検討のほか、条例等の整備、職員研修の実施、窓口業務の見直し、必要な情報システムの構築に取り組む。</p> <p>【事業量】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会保障・税に関わる番号制度検討チームによる検討 ・職員研修等の実施 ・中間サーバの共同利用検討 ・業務（住記、税）システム改修 											
	スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	事業の成果（目標）	<ul style="list-style-type: none"> ○WGの開催（通年） ○職員研修等の実施 ○特定個人情報保護評価の実施 ○団体内統合宛名システムの整備 ○業務システム改修 ○窓口業務フローの整備 											

中間評価	上半期の実績・課題等	<p>制度導入に向けた準備・対応について、検討チームの事務局として庁内の調整を図り、個別の検討部会（ワーキング・グループ）において具体的な議論・検討を進めた。また、平成27年度10月の個人番号の付番・通知に必要な住記システムの改修作業に着手した。今後は、税・宛名システム等の改修作業に着手するとともに、システム改修の要件定義前に必要となる特定個人情報保護評価の実施に向けた準備・対応を行う。</p>											
	事業評価審査会特記意見	政策会議評価・意見等	重点的に取り組む課題とする。										
	主管課評価	1	事業評価審査会評価	1	1 重点的に取り組む 2 経常業務の一環として取り組む 3 見送ることとする								

事後評価	実績	<ul style="list-style-type: none"> ・社会保障・税に関わる番号制度検討チームによる検討（検討会議（1回）、WG・SWG（16回）） ・三鷹市番号制度推進本部事務局の設置（10月1日） ・中間サーバの共同利用検討 ・特定個人情報保護評価の実施 ・職員研修の実施 ・庁内外の情報交換会の実施 ・システム構築（番号管理連携システム、住民記録システム、税システム等） 											
	スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	事業の成果（実績）	<ul style="list-style-type: none"> ・番号制度推進本部事務局による推進 ・個人情報保護条例の改正 ・特定個人情報保護評価書の作成（対象は18事務） ※市民からの意見募集（1事務）、第三者点検（1事務） ・団体内統合宛名システムの整備、窓口業務フローの検討 ・広報紙「広報みたか」（4回掲載）ケーブルテレビ市広報番組「みる・みる・三鷹」（2週間放送） 											
	事業の総括（主管課）	<p>「社会保障・税に関わる番号制度検討チーム」を中心に、国からの情報収集に努めながら準備作業を進めてきたが、番号制度の円滑な導入開始に向けた庁内推進体制をさらに強化するために、平成26年10月に「三鷹市番号制度推進本部」を設置し、あわせて事務局体制を整備した。社会保障・税番号制度の導入に当たって必要となる作業について全体調整を行うとともに、特定個人情報保護評価の実施、条例等の整備が必要な事務の把握、システム構築及び国補助金の確保などに取り組んだ。</p> <p>特定個人情報保護評価については、実施予定の18事務について評価書の作成を進め、「住民基本台帳に関する事務」の評価書について市民からの意見募集、個人情報保護委員会の特定個人情報保護評価部会による第三者点検を実施し、国の特定個人情報保護委員会へ提出した。また、国等の動向に留意しながら市広報紙「広報みたか」やケーブルテレビの市広報番組「みる・みる・三鷹」を活用し、社会保障・税番号制度に関する広報活動を行った。</p>											
	事業評価審査会評価・意見等	予算執行	25年度実績		26年度当初		26年度実績						

予算額	0千円	102,594千円	102,594千円
決算額	0千円		102,125千円
執行率（%）	0.0%		99.5%

主管課評価	2	事業評価審査会評価	2	1 計画以上 2 計画どおり 3 計画の7割未満 4 その他（取組方針の変更等）								
-------	---	-----------	---	--	--	--	--	--	--	--	--	--

平成26年度 「各部の運営方針と目標」掲載 ≪個別事業評価表≫

事業名	市内大規模土地利用転換に伴う総合的なまちづくりの調整	個別事業掲載No	企 — 5
-----	----------------------------	----------	-------

当初計画	事業概要・事業量	<p>【日本無線】 日本無線三鷹製作所の移転に伴う諸課題に対し、平成25年6月に締結した連絡会に関する覚書に基づき、連絡会等で三鷹製作所の跡地活用や都市計画等に関する意見交換・協議を行う。意見交換・協議にあたっては、平成26年3月に締結したまちづくりに関する協力協定に基づいて、跡地に立地する事業分野等に関することや、都市整備部と連携し地区計画を定め一体的なまちづくりを推進する。また、市内事業者の操業支援に向け生活環境部と連携して取り組む。</p> <p>・連絡会4回開催、地区計画策定（12月）</p> <p>【杏林大学】 杏林大学の井の頭キャンパスの移転については、平成28年4月の開設に向け、周辺の交通・道路環境の整備や連携事業を大学と協議するとともに、文部科学省「地（知）の拠点整備事業」との連携事業を推進する。</p> <p>・連絡会1回開催、作業部会（交通・周辺環境部会、地域貢献部会）各2回開催</p>											
	スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	事業の成果（目標）	<p>・日本無線三鷹製作所跡地の周辺環境と調和したまちづくりの推進</p> <p>・杏林学園井の頭キャンパス移転に向けた周辺環境の整備及び連携事業の整理</p> <p>「地（知）の拠点整備事業」に係る連携事業の推進</p>											

中間評価	上半期の実績・課題等	<p>日本無線三鷹製作所の移転に伴う取り組みについては、まちづくりに関する協力協定に基づき、三鷹製作所の敷地全体に対する「下連雀五丁目第二地区地区計画」の策定に向け、都市整備部と連携し連絡会等を通じた日本無線との協議及び都市計画審議会での審議を進めた。</p> <p>杏林大学との取り組みでは、「地（知）の拠点整備事業」に伴う教育・研究活動の一環として、庁内各部署と連携した職員の派遣や、都市整備部との連携による自転車対策等についての協議を開始した。</p>											
	事業評価審査会特記意見					政策会議評価・意見等				重点的に取り組む課題とする。杏林大学の開設スケジュールを踏まえて、具体的な交通対策の取り組みを早急に進めること。			
	主管課評価	1	事業評価審査会評価				1	1 重点的に取り組む 2 経常業務の一環として取り組む 3 見送ることとする					

事後評価	実績	<p>・日本無線との連絡会開催（2回）、下連雀五丁目第二地区地区計画を策定（12月）</p> <p>・杏林大学との連絡会開催（1回）、交通・周辺環境部会開催（1回）</p>											
	スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	事業の成果（実績）	<p>【日本無線】</p> <p>・三鷹製作所跡地利用に関する意見交換</p> <p>【杏林大学】</p> <p>・井の頭キャンパスへのバス交通、自転車交通について協議、移転に向けた連携事業協議</p>											
	事業の総括（主管課）	<p>日本無線三鷹製作所の移転に伴う取り組みについては、まちづくりに関する協力協定に基づき、三鷹製作所の敷地全体に対する「下連雀五丁目第二地区地区計画」を策定した。先行売却する土地については、市内事業者を含む都市型産業等に資する事業用途となるよう適宜意見交換を行い、協定に基づいた取り組みを進めることができた。引き続き、連絡会等を通して売却予定の土地利用について、関係機関等との協議を進める。</p> <p>杏林大学との取り組みでは、「地（知）の拠点整備事業」に伴う教育・研究活動の一環として、庁内各部署と連携した職員の派遣を実施し、連携の充実を図った。また、井の頭キャンパス周辺の交通環境の整備や自転車対策等について、都市整備部と連携した協議を行った。平成28年度の開設に向け、連絡会等を通じた協議を進める。</p>											
	事業評価審査会評価・意見等					予算執行	25年度実績		26年度当初		26年度実績		
					予算額	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円		
					決算額	0千円					0千円		
					執行率（%）	0.0%					0.0%		
主管課評価	1	事業評価審査会評価				1	1 計画以上 2 計画どおり 3 計画の7割未満 4 その他（取組方針の変更等）						

平成26年度 「各部の運営方針と目標」掲載 ≪個別事業評価表≫

事業名	地域情報化プラン2022の推進及びICT街づくりの充実	個別事業 掲載No	企 — 6
-----	-----------------------------	--------------	-------

当初計画	事業概要・事業量	<p>【事業概要】 地域情報化プラン2022に基づき、地域と行政の課題を解決する手段としてのICT利活用について検討を行う。その際、「情報セキュリティの確保及びプライバシー保護の推進」に最大限留意するとともに、「民学産公の協働」による取り組みを推進しながら、「誰もが利用可能なICTの社会」の実現をめざす。平成26年度も、地域情報化推進協議会等、民学産公の協働により事業に取り組む。</p> <p>【事業量】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中高生国際Rubyプログラミングコンテスト2014 in Mitaka (仮称)の開催 (1回) ・地域情報化推進協議会及び地域情報化プラン推進会議の開催 (2回) 											
	スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
		○推進協議会 ○プラン推進会議						○コンテスト最終審査会			○推進協議会 ○プラン推進会議		
事業の成果 (目標)	<ul style="list-style-type: none"> ・中高生国際Rubyプログラミングコンテスト2014 in Mitaka参加者 (100人) ・民学産公の取り組みによる地域情報化推進協議会の開催(2回) ・地域への課題解決に向けた地域情報化プラン2022の改定準備 												

中間評価	上半期の実績・課題等	<p>中高生国際Rubyプログラミングコンテストに係る第1回実行委員会を開催し、作品募集を開始した。下半期は、GIS活用・電子申請手続き・各種アプリ等に係る状況調査を実施するとともに、地域情報化プラン2022の改定の準備として民学産公の取り組みによる地域情報化推進協議会を開催し、これまでの取り組みについて課題整理等を行う。</p>										
	事業評価審査会特記意見	<p>政策的に取り組む課題とする。</p>										
	政策会議 評価・意見等											
主管課評価	1	事業評価審査会評価	1	1 重点的に取り組む 2 経常業務の一環として取り組む 3 見送ることとする								

事後評価	実績	<ul style="list-style-type: none"> ・中高生国際Rubyプログラミングコンテスト最終審査会開催 (12/6) ・地域情報化推進協議会開催 (2回) ・地域情報化プラン推進会議開催 (1回) 											
	スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
		○推進協議会						○コンテスト最終審査会			推進協議会○ プラン推進会議○ ○調査実施		
	事業の成果 (実績)	<ul style="list-style-type: none"> ・中高生国際Rubyプログラミングコンテスト開催 (応募件数77件、内市民 (市民講座含む。) 56件) 参加者120人 ・民学産公の取り組みによる地域情報化推進協議会の開催(2回) ・ICTに係る全庁的な調査の実施 (改定の基礎資料) 											
	事業の総括 (主管課)	<p>中高生国際Rubyプログラミングコンテスト2014 in Mitaka の応募件数は、平成25年度に比べ増加している。しかし、市民の応募作品が最終審査会まで進まない状況にあるとともに、依然として参加地域等に固定化傾向がある。市民応募作品が最終審査会へつながるような働きかけ及び参加地域の拡大が課題である。</p> <p>地域情報化推進協議会では、オープンデータやクラウドなどICTの利活用による身近な地域の課題解決について、提言があった。また、地域情報化プラン推進会議では、次年度の大きな取り組みになる社会保障・税番号制度及び新川防災公園・多機能複合施設 (仮称) に係るシステム構築について庁内で職員間で情報共有することができた。</p> <p>ICTに関する全庁的な調査結果並びに地域情報化推進協議会及び地域情報化プラン推進会議での協議内容を次年度の地域情報化プラン2022の改定の基礎資料とする。</p>											
事業評価審査会評価・意見等	Rubyやオープンデータの利活用による地域活性化、地域課題の解決につながるよう、関係部署と連携し、引き続き積極的に取り組むことが望ましい。	予算執行		25年度実績	26年度当初	26年度実績							
				予算額	11,729千円	26,675千円	26,675千円						
				決算額	11,365千円		25,931千円						
				執行率 (%)	96.9%		97.2%						
主管課評価	2	事業評価審査会評価	2	1 計画以上 2 計画どおり 3 計画の7割未満 4 その他 (取組方針の変更等)									

平成26年度 「各部の運営方針と目標」掲載 ≪個別事業評価表≫

事業名	三鷹ネットワーク大学事業の充実に向けた協働の推進	個別事業 掲載No	企 — 7
-----	--------------------------	--------------	-------

当初計画	【事業概要】 平成26年度は引き続き、「三鷹まちづくり総合研究所」や「三鷹の森 科学文化祭」などの取り組みを推進するとともに、正会員・賛助会員等との連携を強化し、民学産公の協働の取り組みを通じて、地域の活性化や人材の育成等を図っていく。また、杏林大学が文部科学省の「地（知）の拠点整備事業」に採択されたことから、その一環として月1回程度のペースで連続講演会を三鷹ネットワーク大学にて実施するなど、これまで以上に連携を深めた事業展開を行っていく。 【事業量】 ・4期で150件の講座等実施 ・「みたか太陽系ウォーク」の開催 ・杏林大学と共催の講演会を月1回程度実施
	スケジュール 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月 ○第1回経営諮問会議 ○理事会・総会 ○次世代まちづくり人材養成塾 ○協働研究事業 ○みたか太陽系ウォーク ○三鷹まちづくり総合研究所「将来課題研究会」
	事業の成果 (目標) ・講座申込者数のべ12,000人、受講者満足度85%以上 ・「みたか太陽系ウォーク」参加人数2,000人

中間評価	上半期の 実績・課題等 当初計画どおり、第1回経営諮問会議を5月14日、理事会・総会を5月22日に行った。協働研究事業については、5～6月に募集・選考を行い、8団体を採択した。三鷹まちづくり総合研究所「将来課題研究会」については3回、「次世代まちづくり人材養成塾」については、視察を含め4回開催した。また、杏林大学との連携として、公開講演会を6回開催した。 みたか太陽系ウォークについては、5月に実行委員会を開催し課題等の整理を行うとともに、積極的な営業等により、過去最大規模のスタンプラリーとなっている。
	事業評価 審査会 特記意見 政策的に 評価・意見等 重点的に取り組む課題とする。
主管課評価	1 事業評価審査会評価 1 1 重点的に取り組む 2 経常業務の一環として取り組む 3 見送ることとする

事後評価	実績 ・4期で233件の講座等実施 ・「みたか太陽系ウォーク」の開催 ・杏林大学と共催の講演会を月2回程度実施
	スケジュール 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月 ○第1回経営諮問会議 ○理事会・総会 ○次世代まちづくり人材養成塾 ○協働研究事業 ○みたか太陽系ウォーク ○三鷹まちづくり総合研究所「将来課題研究会」
	事業の成果 (実績) ・講座申込者数のべ12,385人、受講者満足度88.0% ・「みたか太陽系ウォーク」参加人数2,665人
	事業の総括 (主管課) 各事業それぞれにおいて概ね当初計画通り実施することができた。講座申込者数は12,385人、受講満足度は88.0%と、どちらも目標を達成することができた。引き続き申込者獲得に向けた丁寧な情報発信等に取り組んでいく。なお、みたか太陽系ウォークスタンプラリーについては、商業者と連携を図り、関係商品の開発支援を行った。参加人数については、前年度2,104人から約25%増加し、2,665人となった。 今後も、引き続き、正会員・賛助会員の情報交換や交流の機会を拡充し、さらに民学産公の協働の取り組みを推進する。
	事業評価 審査会 評価・意見等 予算 執行 25年度実績 26年度当初 26年度実績 予算額 70,528千円 61,597千円 61,597千円 決算額 50,656千円 54,052千円 執行率(%) 71.8% 87.8%
主管課評価	2 事業評価審査会評価 2 1 計画以上 2 計画どおり 3 計画の7割未満 4 その他(取組方針の変更等)

平成26年度 「各部の運営方針と目標」掲載 ≪個別事業評価表≫

事業名	男女平等参画のための三鷹市行動計画2022の推進	個別事業 掲載No	企 — 8
-----	--------------------------	--------------	-------

当初計画	事業概要・事業量	<p>【事業概要】 計画の推進にあたっては、審議会や庁内連絡会議での協議を踏まえながら、全庁的な取り組みとなるよう進めていく。特にワーク・ライフ・バランスの推進や女性センター機能の拡充と更なる活性化、平等参画指標の向上等について重点的に取り組んでいく。また、平成26年度は「男女平等参画のための三鷹市行動計画2022」の計画期間の前期の最終年度であるため、男女平等に関する意識調査を実施する。</p> <p>【事業量】 ・ワーク・ライフ・バランスのための民学産公協働講座の開催（3回）・男女平等参画講座（3回） ・フォーラムの開催（1回）・啓発紙の発行（年2回各8,000部）</p>											
	スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
		○審議会（年3回予定）			○啓発紙発行			○啓発紙発行					
事業の成果（目標）	<p>・男女平等参画講座、三鷹市民フォーラムの参加者数 延べ100人 ・ワーク・ライフ・バランスのための民学産公協働講座の参加者数 延べ60人</p>												

中間評価	上半期の実績・課題等	<p>男女平等参画審議会を5月に開催し、今年度の男女平等参画推進事業について意見交換を行った。DV防止の啓発を中心とした男女共同参画週間パネル展を6月に実施した。また、8月に男女平等参画相談員（弁護士2名）、女性のためのこころの相談業務委託カウンセラー（3名）と行政との懇談会を行い、相談業務における連携のあり方やDV防止策等について話し合った。今後は、男女平等参画講座及び民学産公協働講座をはじめとした各種事業を実施していく。</p>											
	事業評価審査会特記意見				政策会議 評価・意見等			重点的に取り組む課題とする。 計画の改定にあたっては、国等の動向の把握に努め、的確に反映させること。					
	主管課評価	1	事業評価審査会評価	1	1 重点的に取り組む 2 経常業務の一環として取り組む 3 見送ることとする								

事後評価	実績	<p>・ワーク・ライフ・バランスのための民学産公協働講座の開催（3回）・男女平等参画講座の開催（2回） ・市民フォーラムの開催（1回）・啓発紙の発行（年2回各8,000部）</p>											
	スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
		○審議会			○男女平等参画週間パネル展開催			○啓発誌発行 ○審議会			○審議会 ○啓発誌発行		
								○庁内推進連絡会議開催			○民学産公協働講座開催（3回）		
								○男女平等参画講座開催（2回）			○市民フォーラム開催		
事業の成果（実績）	<p>・男女平等参画講座、市民フォーラムの参加者数 延べ56人 ・ワーク・ライフ・バランスのための民学産公協働講座の参加者数 延べ152人</p>												
事業の総括（主管課）	<p>ワーク・ライフ・バランスのための民学産公協働講座については、公募による市民企画員との協働の取り組みを推進し、積極的なPR活動、保育等の充実を図ったことから、想定以上の参加者数となり、広くワーク・ライフ・バランスの意識啓発・推進を行うことができた。 また年2回啓発誌を発行するとともに、男女平等参画情報提供コーナーを充実させ、男女平等参画意識の醸成を図った。男女平等参画講座及び市民フォーラムについては、相談事業との連携など、市民ニーズを反映した講座内容となるよう、さらなる検討を行い充実を図る必要がある。 なお、男女平等参画に関する市民意識については、市民満足度・意向調査に含めて実施したことから、平成27年度の基本計画及び個別計画改定の基礎とする。</p>												
事業評価審査会評価・意見等				予算執行			25年度実績	26年度当初		26年度実績			
							予算額	8,234千円		8,366千円		8,366千円	
							決算額	7,286千円				7,680千円	
							執行率（%）	88.5%				91.8%	
主管課評価	2	事業評価審査会評価	2	1 計画以上 2 計画どおり 3 計画の7割未満 4 その他（取組方針の変更等）									

平成26年度 「各部の運営方針と目標」掲載 ≪個別事業評価表≫

事業名	非核・平和施策の推進	個別事業 掲載No	企 — 9
-----	------------	--------------	-------

当初計画	事業概要・事業量	<p>【事業概要】 各種平和関連事業を、若い世代をはじめとした多様な方々が参加できるような工夫を図りつつ、継続して実施していく。また、戦争の記憶の風化が懸念される中、貴重な戦争体験談を記録し、保存していくアーカイブ化事業を推進する。平成27年度には、戦後70年の節目の年を迎えることになるため、アーカイブ化の取りまとめを行い、市民の方にご覧いただけるような取り組みについて検討する。</p> <p>【事業量】</p> <ul style="list-style-type: none"> 憲法を記念する市民のつどいの開催 戦没者追悼式並びに平和祈念式典の開催 平和展、東京空襲資料展の開催 CAPワークショップの実施 											
	スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
		○憲法を記念する市民のつどい ○世界連邦三鷹支部総会 ○戦没者追悼式並びに平和祈念式典						○平和の絵展 ○平和カレンダー作成			○地球市民講座 ○東京空襲展		
事業の成果 (目標)	<ul style="list-style-type: none"> 平和推進関連事業の参加者数 延べ3,000人 戦争体験談のアーカイブ化の推進 												

中間評価	上半期の 実績・課題等	5月の「憲法を記念する市民のつどい」、8月の「平和のつどい」等を計画どおり実施した。戦争体験談のアーカイブ化の一環として戦争体験談を収録し、DVD化や市ホームページ上への掲載を行った。CAPワークショップについては小学校3校で実施した。平和関連事業への幅広い世代の参加者を促すとともに、来年の戦後70年に向けて各種周年事業等の企画検討と、次世代に平和事業をどのように引き継いでいくかが課題である。										
	事業評価 審査会 特記意見		政策会議 評価・意見等	重点的に取り組む課題とする。								
	主管課評価	1	事業評価審査会評価	1	1 重点的に取り組む 2 経常業務の一環として取り組む 3 見送ることとする							

事後評価	実績	<ul style="list-style-type: none"> 憲法を記念する市民のつどい、戦没者追悼式及び平和祈念式典の開催、市民憲法講座（全3回）の開催 平和展、東京空襲資料展の開催 CAPワークショップの実施（小学校5校、学童保育所1校、一般向け1回） 											
	スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
		○憲法を記念する市民のつどい ○世界連邦三鷹支部総会 ○戦没者追悼式並びに平和祈念式典						○平和の絵展 ○地球市民講座 ○平和カレンダー作成			○東京空襲展 ○市民憲法講座（11月、1月、3月実施）		
	事業の成果 (実績)	<ul style="list-style-type: none"> 平和推進関連事業の参加者数 延べ3,543人 戦争体験談のアーカイブ化（収録4件、映像作品のDVD化4件、ホームページでの映像掲載2件） 											
	事業の総括 (主管課)	<p>憲法を記念する市民のつどいや平和のつどい、各種講座やパネル展等を計画どおり実施することができた。参加者数も目標値を上回ることができ、それぞれの事業に対する市民の声も、アンケート等から概ね好評価を得ることができた。特に市民憲法講座については、市民の多様な意見を踏まえ、講演テーマや講師選定等に際しバランスに配慮することで集客につなげることができた。</p> <p>戦争体験談のアーカイブ化事業については、関係団体の協力も得ながら新たに4人の方の証言の収録を行うとともに、これまで収録した体験談の一部については、市ホームページに掲載した。今後は、戦後70年を迎えるに当たり、より幅広く収録作業を進めるとともに、取りまとめや活用方法等について検討していく必要がある。</p>											
事業評価 審査会 評価・意見等		予算 執行		25年度実績	26年度当初	26年度実績							
				予算額	5,735千円	5,227千円	5,227千円						
				決算額	3,545千円		3,673千円						
				執行率(%)	61.8%		70.3%						
主管課評価	2	事業評価審査会評価	2	1 計画以上 2 計画どおり 3 計画の7割未満 4 その他（取組方針の変更等）									

平成26年度 「各部の運営方針と目標」掲載 ≪個別事業評価表≫

事業名	矢吹町姉妹市町締結50周年の取り組み	個別事業 掲載No	企 — 10
-----	--------------------	--------------	--------

当初計画	事業概要・事業量	<p>【事業概要】 姉妹市町締結50周年記念として、矢吹町と連携を図り、「50周年記念セレモニー（仮）」や交流事業（三鷹市民駅伝大会、三鷹の森フェスティバル事業等）を通じて、住民交流等の活性化を図る。また、特集記事を掲載した広報みたかを発行し周知を図るとともに、矢吹町が作成した記念ロゴデザインを活用し50周年の気運醸成に努め、姉妹市町であることの意義を確認し合い、より一層の絆を深める。</p> <p>【事業量】</p> <ul style="list-style-type: none"> 50周年記念セレモニー（仮）の開催 特集記事を掲載した広報みたかの発行 											
	スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	事業の成果（目標）	○庁内連絡会						○50周年記念セレモニー（仮）					
		○特集記事掲載の広報みたか発行											
	事業の成果（目標）	<ul style="list-style-type: none"> 三鷹市と矢吹町の住民交流等の活性化 主な交流事業の参加者数の増加 											

中間評価	上半期の実績・課題等	<p>広報みたか(7月6日号)に特集記事を掲載するとともに、みる・みる・三鷹(7/6～7/19放送分)の「市長のひとことコーナー」で矢吹町との姉妹市町締結50周年を放送し、広く周知を図った。また、子ども交流会など交流事業においても、記念ロゴデザインやのぼり旗などを活用し、姉妹市町締結50周年を周知した。</p>												
	事業評価審査会特記意見							政策会議 評価・意見等						
	主管課評価	3	事業評価審査会評価		3	1 重点的に取り組む 2 経常業務の一環として取り組む 3 見送ることとする								

事後評価	実績	<ul style="list-style-type: none"> 三鷹市主催50周年記念交流会、50周年記念覚書締結式の実施(11/29) 交流50周年記念三鷹市民駅伝大会の開催(11/30) 特集記事掲載の広報みたかの発行(7/6号) みる・みる・三鷹「市長ひとことコーナー」での周知(7/6～7/19放送分) 矢吹町消防団寄贈の第1号ポンプ車返還式の開催(3/20) 																													
	スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月																		
	事業の成果（実績）	○庁内連絡会(5/13)						○三鷹市主催50周年記念交流会(11/29)																							
	事業の総括（主管課）	<p>東日本大震災の発生から3年が経過し、矢吹町においてはライフライン等の復旧は概ね完了したとはいえ、まだまだ復興の途中であることから、過度な催しは双方で控えることとした。そのような中において、派手さはないものの、各種交流事業や両市町での交流会等を通じて、両市町の行政、議会及び住民同士の交流が図られ、相互の友好関係を深めることができた。</p> <p>また、これまで姉妹市町の締結については、双方の議会の議決のみしか文書がなかったが、50周年を記念して、行政間での覚書を締結できたことにより、更なる友好の発展に寄与することができた。</p>																													
	事業評価審査会評価・意見等							<table border="1"> <tr> <td rowspan="4">予算執行</td> <td colspan="2">25年度実績</td> <td colspan="2">26年度当初</td> <td colspan="2">26年度実績</td> </tr> <tr> <td>予算額</td> <td>0千円</td> <td>687千円</td> <td>687千円</td> </tr> <tr> <td>決算額</td> <td>0千円</td> <td></td> <td>580千円</td> </tr> <tr> <td>執行率(%)</td> <td>0.0%</td> <td></td> <td>84.4%</td> </tr> </table>						予算執行	25年度実績		26年度当初		26年度実績		予算額	0千円	687千円	687千円	決算額	0千円		580千円	執行率(%)	0.0%	
予算執行	25年度実績		26年度当初		26年度実績																										
	予算額	0千円	687千円	687千円																											
	決算額	0千円		580千円																											
	執行率(%)	0.0%		84.4%																											
主管課評価	1	事業評価審査会評価		1	1 計画以上 2 計画どおり 3 計画の7割未満 4 その他(取組方針の変更等)																										